

三輪崎&佐野

ぶらりマップ

新宮市の南部に位置するこの地域は、約3000年前から捕鯨で栄えてきており、捕鯨にまつわる史跡、そして県や国指定の文化財も多く見られます。大型船が接岸できる大規模な港湾と昔ながらの港町が隣接しており、対照的な沿岸風景を満喫することができます。三輪崎には二つの岩礁ひだき島、鈴島と乳島があり、防波堤を歩いて歩いて渡ることができます。熊野古道(赤い点線)に沿って歩くと、南隣の佐野地区へと向かいます。

- 🅑 駐車場
- 🅒 バス停
- 🅓 おすすぬウォーキングルート
- 🅔 コンビニエンスストア
- 🅕 色つき吹き出し=花桃報
- 📷 フォトスポット
- 🚻 トイレ
- 🍽️ 飲食店
- 🚗 自販機
- 🚚 熊野古道
- 🍽️ 飲食店



新街道標
 しんみちどうびょう
 新宮までの車道開通工事に使用したローラーをそのまま道標にしたというユニークなものです。道標には「左新街道」と刻まれています。1884年設置。

calle & cafe flor de maria
 三輪崎海岸真ん前にあるカフェ。海を見ながらお洒落で健康的な日替わりランチやドリンクを楽しめる。



毎年12月~1月、エビ網干しの光景が見られる！

防波堤を歩いて乳島まで行ける

黒潮公園
 三輪崎から佐野まで、国道42号に沿うように続く公園。約1.5kmにわたる遊歩道があり、歩きながら季節ごとの花を楽しめます。

フジ (4~5月)

サクラ (3月下旬~4月中旬)
 国道沿いに約200本の桜並木

フジ (4~5月)

フジ (4~5月)

ツツジ (4~5月)

河津桜の並木
 3月上旬~4月上旬

鈴島・乳島



フォトスポット①
 三輪崎漁港の近くには鈴島、乳島という2つの小さな島があり、歩いて渡ることができます。奇岩も多く、「南紀熊野ジオパーク」にも登録されているエリアです。

三輪崎青年会館

三輪崎漁師町の中心部に位置する木造の建造物は国の登録有形文化財です。1927年に建造され、現在は八幡神社例大祭に奉納される鯨踊りや獅子神楽の練習はこごみ行われています。



大前屋旅館

三輪崎青年会館の近くに位置する1903年製の建造物で、三輪崎青年会館と同じく、国の登録有形文化財となっています。1989年頃までは海の眺めの良い旅館として営業していました。



波消しブロック

三輪崎漁港近くの通り沿いには、押絵のような波消しブロックが見られます。海に面していない道路でのこの光景は不思議な感じがします。実は、約60年前に埋め立てられる以前ここは、波打ち際でした。



三輪崎八幡神社

三輪崎の山手に位置する神社です。元は海沿いでしたが、1902年の三輪崎大火の際、現在の場所に移設されました。和歌山県無形民俗文化財の「鯨踊り」は毎年9月の例大祭で、この神社の元宮で奉納されます。高台の境内は津波避難場所にもなります。



フードコート、レストランなど、食事処がある。

尾将軍の供養碑
 佐野王子跡

三輪崎の捕鯨と鯨踊り

和歌山県南部の捕鯨といえは太地が知られていますが、三輪崎も古くから捕鯨の重要な拠点として発展していました。その記録としては1677年（延宝5年）までさかのぼります。この頃の三輪崎にはモリ打ちの名手があり、太地の捕鯨集団には三輪崎の庄屋の名も見られました。捕鯨の最盛期は延享から宝暦年間に当たる1744年～1763年頃であり、その後明治期に入って以降は衰退したと言われています。三輪崎の周辺には、現在も捕鯨にまつわる史跡が多く見られ、それらのいくつかは「日本遺産 鯨とともに生きる」に登録されています。

【鯨山見跡】

三輪崎の高台から海を行く鯨を見張っていた場所で、熊野古道高野坂の道中に三ヶ所ありました。この内一ヶ所は現在も古道歩きの中で寄ることができる展望台となっています。熊野灘の眺めが大変素晴らしいです。

【孔島巖島神社の石造物】

三輪崎漁港から堤防を伝って行ける孔島には巖島神社があります。ここは、かつては船でしか渡れない島でした。その境内には太地や三輪崎の鯨方（捕鯨の漁師）によって建立された石造物が見られます。中には「法要塔」の文字が見られ、鯨の供養などの意味が込められた捕鯨信仰の強さを物語っています。

【三輪崎八幡神社と鯨踊り】

現在も毎年9月に三輪崎八幡神社に奉納されている「鯨踊り」の歴史は古く、1740年代頃から始まったとされます。捕鯨最盛期の頃は大漁を祝い、幕末以降に捕鯨が徐々に下火になってきた頃には大漁祈願の意味を込めて奉納されました。明治時代後半には一度絶えてしまいましたが、1924年（大正13年）に地元青年会の有志によって三輪崎八幡神社の例大祭の時期に復活し、その後は三輪崎郷土芸能保存会が継ぐ形で現在に至ります。鯨踊りは1974年12月、和歌山県指定無形文化財に登録されました。



参考文献：『和歌山県無形文化財 三輪崎の鯨踊り』三輪崎郷土芸能保存会発行 『わかやま歴史物語100 ストーリー64 現代も息づく、三輪崎の鯨方の史跡と文化』

黒潮公園の句石碑

三輪崎から佐野に至る海岸沿いにある黒潮公園には、旅の先人たちが残した歌が句碑として残されています。美しく、時に荒ぶる三輪崎の自然の姿が伝わります。



藤原定家の句碑

「駒とめて 袖うちはら（手偏に弗）う陰もなし
佐野のわたりの雪の夕暮れ」
（藤原定家 平安末期の歌人）

「苦しくもふりくる雨が 神（みわ）の崎 狭野（まの）の
渡りのいへもあらなくに」
（長忌寸奥麿【ながのいみきおきまろ】 万葉集第二期歌人）

佐野が「狭い平野部」であること、三輪崎がかつて「神（みわ）の崎」と呼ばれていたことなど新しい発見があります。公園内には計8基の碑があり、形も個性的です。

宝蔵寺と龍雲寺

三輪崎の町の中心近くには、宝蔵寺と龍雲寺という二つのお寺があります。龍雲寺は1559年（永祿二年）に、宝蔵寺は1609年（慶長十四年）にそれぞれ開山した曹洞宗の寺院です。この二つの寺院は隣接しています。理由は不明ですが、いつしか山側にある龍雲寺は、農家、林業家など里の人々の信仰を、海側にある宝蔵寺は漁師や鯨方など海の人々の信仰を集めてきました。



龍雲寺

宝蔵寺

主要見どころポイントへの距離と時間

【新宮港三輪崎第4号岸壁から】

- 三輪崎漁港 1.2km 17分
- 三輪崎青年会館 950m 13分
- 大前屋旅館 1.0km 15分
- 熊野古道高野坂登り口 1.8km 25分
- 鈴島 1.5km 23分
- ※鈴島までは鈴島から堤防を歩き、片道500mです。
- 三輪崎八幡神社 1.1km 16分
- JR三輪崎駅 1.3km 18分
- JR紀伊佐野駅 1.3km 18分

【新宮港佐野第8号岸壁から】

- 佐野の一里塚 350m 5分
- 河津桜の並木 240m 3分
- 佐野王子跡 850m 12分
- JR紀伊佐野駅 950m 13分
- JR三輪崎駅 2.1km 32分

【JR三輪崎駅から】

- 三輪崎漁港 650m 9分
- 三輪崎青年会館 550m 8分
- 大前屋旅館 550m 8分
- 熊野古道高野坂登り口 300m 4分
- 鈴島 950m 13分
- ※鈴島までは鈴島から堤防を歩き、片道500mです。
- 三輪崎八幡神社 400m 6分

【JR紀伊佐野駅から】

- 佐野の一里塚 600m 8分
- 河津桜の並木 1.1km 16分
- 佐野王子跡 1.1km 16分

【備考】●時間は徒歩で1kmあたりおよそ15分で計算しています。
●熊野古道高野坂登り口から反対側の王子ヶ浜までは、片道約1000mです。
●三輪崎八幡神社は境内まで150段の階段があります。この分は距離と時間には含んでおりません。
●鈴島から孔島への堤防道路は、高波や悪天候の際は危険ですので歩行を控えてください。

新宮市観光協会

〒647-0020 和歌山県新宮市徐福2丁目1-11 TEL 0735-22-2840

制作 アトリエ・セキヤラの道